



未来へつなごう！多様な生きものをはぐくむ場 〔おおいたの重要な自然共生地域〕

項目	基礎情報
市町村名	豊後高田市
地域名等	真玉八幡神社の森(またまはちまんじんじャのもり)
特徴	里地・里山にみられる貴重な生態系・生物群集
地域の概要・特徴など	神社の由来は、約1300年前までに遡ります。神域面積およそ3.6ha。そのうち樹林は3.1ha。植栽の由来については、掘るべき資料はありませんが、社庭周辺の単木的に配置された大木は社殿造営後の植栽と思われます。
生物情報	主林木はイチイガシで、アラカシ、コジイ、タブノキなどを混成する低地の常緑樹林が広がり、豊かな生態系を形成しています。
景観写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>景観写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>常緑樹林</p> </div> </div>
地域の保全・啓発活動団体名	真玉八幡神社
生きものの生息・生育環境を守るための取り組み	清掃、植生保護などを行っています。
範囲図	 <p style="text-align: center;">●: 啓発案内板設置位置</p>
<p>地理院地図(https://maps.gsi.go.jp/)を加工して作成 範囲図は大まかに公表地域等の範囲を示しているため、範囲外であっても大切な自然が残されている場所や、範囲内となっても公表地域等の特徴を満たしていない場所が含まれている場合があります。</p>	

啓発案内板



設置写真

未来へつなごう！多様な生きものをくむ場
（おおいたの重要な自然共生地域）

この地域は、自然の恵みをもたらす生物多様性豊かな自然環境が保たれています。
優れた自然を未来につなぐため、それを学んだり守るための活動に、ご協力をお願いします。

- 地域名等：真玉八幡神社の森
- 特徴：里地・里山にみられる貴重な生態系・生物群集

真玉八幡神社の由来は、西暦720年頃まで遡ります。神域面積およそ3.6ha、そのうち樹林は3.1ha。
主林木はイチイガシで、アラカシ、コジイ、タブノキなどを混成する低地の常緑樹林が広がり、
豊かな生態系を形成しています。また、平成17年に県の特別保護樹林に指定されています。

（範囲図）



（植 物）イチイガシ、アラカシ、コジイ、タブノキなどがみられます。

- 生きものの生息・生育環境を守るための取り組み
清掃や植生保護などを行っています。
- 主な活動団体
真玉八幡神社

大分県・豊後高田市

表示内容